

GPC-4161

調歩同期シリアル通信インタフェースモジュール用 Windows ドライバ



概要

GPC-4161 は、Windows 上から、調歩同期シリアル通信ボードの制御を行うためのソフトウェアです。調歩同期シリアル通信ボードを Windows 上のアプリケーションから Win32 シリアル通信 API をコールすることにより制御します。標準 COM ポートとして使用できるほか、外部クロックの使用、データ/制御信号の監視などの拡張機能が使用できます。インストールしてすぐ使える通信ユーティリティのほか、動作不具合時の原因を容易に判断するための自己診断機能、各言語によるサンプルプログラムが付属しています。

特長

- 最高通信速度 1Mbps(RS-485 の製品は 2Mbps)による調歩同期シリアル通信が可能です。
 - 通信速度基準クロックをチャンネルごとに設定できます。
 - モニタ機能により、2 つの通信機器間のデータや制御信号を監視することができます。
- ※CBI-4641,CBI-466120,CSI-466120 のみサポートしています。
- 外部クロック/内部クロックの選択が可能です。
- ※PCI-4161 のみサポートしています。
- ハードウェアによる RS/CS フロー制御、XON/XOFF の自動送出が可能です。
 - 半二重制御において、データを出しはじめるまでの時間(セットアップタイム)、データを出し終えるまでの時間(ホールドタイム)を μs 単位で設定できます。
- ※製品型式によって仕様が違いますので、注意してください。
- 通信モジュール製品に対応しています。下記のような特長があります。
- ・CPU を搭載しており、通信の際のパソコンや CPU ボード負荷を軽減することが出来ます。
 - ※PCI/CTP/CPZ-420108Q,PCI/CTP/CPZ-420116Q,PCI/CTP/CPZ-420208Q,PCI/CTP/CPZ-420216Q のみ搭載しています。
 - ・最大 16 チャンネルの通信を制御することが可能です。
 - ※PCI/CTP/CPZ-420116Q,PCI/CTP/CPZ-420216Q のみ最大 16 チャンネル可能です。
 - ・最大 48 点のデジタル入出力を制御することが可能です。
 - ※PCI/CTP/CPZ-420116Q,PCI/CTP/CPZ-420216Q のみ最大 48 点可能です。
- Visual Basic の MSComm32.ocx(Microsoft Communications Control)に弊社の拡張機能をつけた ActiveX コントロール(IFXComm.dll)を用意しています。
- ※ソルコンシリーズ搭載の RS-485, RS232C で使用することは出来ませんので、注意してください。
- ActiveX コントロールの特長
- 1.MSComm よりオブジェクト名をかえるだけで置き換えが可能です。
 - 2.ボーレートが好きな値に設定が可能です。
 - 3.通信設定(全二重、半二重)等の切り替えが可能です。

対応 OS

Windows11 x64
 Windows Server 2016 64bit
 Windows Server 2019 64bit
 Windows Server 2022 64bit
 Windows 10 IoT Enterprise x64
 Windows 10 x64

対応言語	
Microsoft Visual C++ 2015, 2017, 2019, 2022	
Microsoft Visual C# 2015, 2017, 2019, 2022	
Microsoft Visual Basic 2015, 2017, 2019, 2022	

注意事項	
—	